



運動会が近づいてきました！ ～リレーの取り組みを通して育まれるもの～

10月28日はどんぐり保育園の運動会です。コロナ禍を経て、久しぶりに園全体での運動会が実現します！嬉しいです。乳児の子どもたちは、暑さが和らぎ外で体を動かす機会が増えたり、ホールで大好きな肋木を存分に楽しむ姿が見られます。運動会当日も日頃から楽しんでいる運動遊びや子どもと保育者のやりとりなどをみなさんに見ていただけたらと思っています。幼児の子どもたちは個々の課題に向かったり、憧れのパラバルーンで盛り上がったりと運動会に向けて一つ一つ進んでいます。そんな中、運動会の競技の一つになるリレーに向けて4.5歳児（うみ・そら）の子どもたちが取り組みを始めています。先日の様子を見た時は走順を自分たちで決め、3グループで対決をし、勝った！負けた…で喜んだり、悲しんだりしている様子が見られました。リレーは勝敗が関係する競技なのでこのような子どもの姿はよく見られます。しかし、どんぐり保育園では勝敗や走るということだけが目的ではなく、話し合いの種目としての位置づけでリレーに取り組んでいます。またグループごとに話し合い目的が違ってくるのも特徴です。「勝つにはどうするか…」という視点で考えるチームもあれば、「何よりバトンを全員が最後までつなぐには、どんな工夫が…」と考えるチームもあるでしょう。子どもたちが自分たちのグループに何が必要か（何を願うか）を出し合い、考え合っていきます。その中で、子どもたち自身が楽しみながら納得して進み、最後にはグループ全体で達成感を感じられるような取り組みにしていきたいと思っています。大人の価値観ではなく、子どもが感じる価値観を大切にしながら、サポートしていきたいと思っています。私が以前保育をしていた中で、「〇〇ちゃんはどこ（何番）がいい？」と聞くと、一人の子が「わたしは〇〇ちゃんにバトンをわたしたい」と主張した子がいました。私はその言葉にハッとしました。走順決めは何番と番号を決めていきがち（もちろん私は〇番がいいと主張することも大事）ですが、「〇〇ちゃんにバトンを…」というその子の言葉こそが、仲間と一緒に取り組んでいる証だと感じました。リレーを通し、安心できる仲間の中で自分の思いを出し、みんなで相談し合う中で仲間とつながり、一人ひとりの今後の保育園生活がより充実していくことを願っています。

今年度は久しぶりに園全体で行う運動会になります。0歳児から5歳児の子どもたちの姿を直に感じながら、全園児の成長をみなさんと喜び合えたら嬉しく思います。2部の保護者会競技も、実行委員の皆さんが競技を練ってくれています。子どもも大人も全力で運動会を楽しみましょう。

文庫がリニューアル

文庫に新着絵本が入りました。

絵本の紹介ができるよう、伊藤征勝さんに本棚を作ってもらいました。（伊藤さんは開園当初から園のために作り物をしたり、修繕をしたりしてくれています。）向かいの棚には卒園までに読みたいお勧め絵本コーナーも設置しました。金色のシールがついています。貸出も随時行っていますので、ぜひご利用下さい。絵本大好きな子がもっともっと増えますように！

新着絵本



卒園までに読みたい絵本

→ここに貸出ノートあります

